

## ❖ お薬手帳用シールの例

**脳の神経の過剰な興奮を抑える性質のお薬です**  
てんかん発作の予防、躁状態、片頭痛発作の予防などに効果があります。  
あなたの服用は\_\_\_\_\_です。

**必ず医師の指示通りに服用してください**  
使用目的により、飲む量や飲み方、期間は異なることがあります。自己判断での服用は、発作の再発や病気の悪化につながります。  
お薬を飲むことに疑問や不安がある場合は、是非ご相談ください。

**眠気やぼんやり感、  
手のふるえなどが気になるときはご相談ください**  
お薬の作用によることが多いと思われませんが、血液中のアンモニア濃度が高くなっている可能性もあります。  
血液検査について医師に相談してみましよう。  
蛋白質の摂りすぎにもご注意ください。

**体重の増加に気をつけましよう**  
適正な体重を維持するために、食事のバランスや運動に注意ましよう。  
体重の測定を日課にましよう。

**吐き気や食欲不振が続いていませんか**  
飲みつづけるうちに、症状は次第におさまってくる人が多いといわれています。  
空腹時の服用を避けたり、効き目が長くつづく製剤に変更したりすることで症状がやわらぐこともあります。  
ただし、体のだるさや、発熱などがある場合には、肝障害の副作用の可能性がまあります。ぜひ医師に相談してください。  
肝障害を予防するためにも、定期的な血液検査を受けましよう。

**服用中の妊娠は計画的に**  
二分脊椎などの奇形児を出産する危険性が高くなります。  
妊娠を希望される場合は、必ず医師にご相談ください。  
妊娠の可能性がまある方は、早急に検査を。

**アスピリンの服用は避けましよう**  
お薬の作用や副作用が強く現れる可能性がまあります。特に重篤な肝障害のリスクが高くなります。  
市販薬の痛み止め、かぜ薬を服用するときは、必ず薬剤師、登録販売者に相談してください。